

東温市健康フォーラム 2018

9月2日、中央公民館で「若さへの挑戦」をメインテーマに東温市健康フォーラムが開催され、約500人が来場しました。

特別講演では、愛媛大学特任教授の伊賀瀬道也医師が「血管のアンチエイジング」をテーマに、日常生活で実践しやすい方法を紹介しました。また、松山東雲短期大学の学生グループ「しなのめベジガール」が野菜や朝食についてのクイズや考案した野菜スムージーの試飲を行った他、個別相談やはしご車体験など、子どもも大人も楽しめるイベントでした。



東温市健康フォーラム 2018



重信中学生が職場体験

8月下旬の1週間、重信中学生が市内の事業所で職場体験を実施しました。市役所で受け入れた5人の生徒さんには、フィッタ(野田)で職場体験した同級生に対して、取材体験をしていただきました。

○職場体験で何を学びましたか? 人とコミュニケーションをとることの大事さや普段やっている挨拶は、社会に出ても必要だと感じました。挨拶は、これからも続けていきます。



おめでとうございます 満100歳のご長寿をお祝い

9月5日、今年度満100歳を迎えられる南野田の隅田ユリ子さん宅を加藤市長が訪問し、長寿をお祝いで記念品と祝状を贈呈しました。これは満100歳以上を迎えられる長寿の方々に対し、長寿のお祝いと長年に渡り社会の発展に寄与されてきたことに感謝しようとする毎年老人週間がある9月に行われています。市内には今年度満100歳以上を迎えられる方が30人(9月17日現在)、最高齢者の方は満108歳を迎えられます。皆さま誠にご長寿おめでとうございます。



国土交通省が許可! 進む仮称東温スマートICの整備

2023年度末の完成を目指す(仮称)東温スマートインターチェンジ(IC)の連結許可書伝達式が、8月27日、東温市役所で行われました。

本スマートICは、松山自動車道の川内ICと松山IC間(田窪地区)への設置を予定しており、今回、鳥羽松山河川国道事務所長より加藤市長に対し、連結許可書が伝達されました。新しいICの整備により、産業発展、医療活動の迅速化、防災面の強化や観光振興への効果が期待されます。

※スマートICとは、ETC(電子料金収受システム)を搭載した車両のみ通行が可能な高速道路インターチェンジです。



「先生みて!とれたよ!」 重信幼稚園アマゴつかみどり

9月6日、重信幼稚園で園児たちによるアマゴのつかみどりが行われました。これは重信川漁業協同組合が主催するもので、プールに合計で300〜400匹のアマゴが何度かに分けて投入されると、園児たちからは歓声があがりました。捕ったアマゴはその場で塩焼きにして、とれたてを味わいました。



ようこそ東温市へ! 台湾の大学生が東温市の米づくりを学ぶ

8月28日、29日に、台湾の開南大学生と愛媛大学生が、東温市で「お米」をテーマにしたフィールドワークを実施しました。

学生たち26名は、井内、河之内地区のお米の生産者やさくらの湯観光物産センター、歴史民俗資料館、浮嶋神社などを訪れて、棚田でのお米作りやお米の売り方、お米の文化に触れました。

市役所では、加藤市長から「東温市のまちづくり」について講話を聴き、台湾の学生は「お米の文化や歴史が学べてよかった。また、まちづくりなども勉強になった」と笑顔を見せていました。



万一の事態に備え連帯強化 第12回横河原区防災訓練

9月16日、横河原集会所及び水天宮境内で横河原区防災訓練が行われました。平成19年の自主防災会結成以来毎年行われているもので、災害に備えて地域の連帯強化、防災意識の向上を目的としています。今回の訓練では、防火水槽・消火栓からの放水訓練や避難所設置、炊き出し訓練などが行われました。参加者は「実際に災害が起きたときには断水や停電など不測の事態が多いと思いますが、普段こういった訓練をしていることはきっと役に立ちます」と話してくれました。



災害時に備えて、今できること

災害時に自ら避難することが困難な人への支援について学ぼうと、9月14日、東温市社会福祉協議会で福祉避難についての研修会が開催されました。当日は、東温市地域自立支援協議会子ども部会の皆さんが参加し、他地域で発生した災害時の被害状況や避難所運営について振り返り、いざという時のため普段から備えておきたいことや、地域での支援体制、また、行政からの支援体制について考えを深めました。東温市で発行する防災マップや、9ページで紹介するヘルプマークなどの活用を進めましょう。

